



令和3年度茨城県当初予算案

令和3年2月



予算編成の基本方針

「活力があり、県民が日本一幸せな県」の実現のため、新型コロナウイルスの影響による社会の変革等に対応しつつ、「4つのチャレンジ」を推進。

I「新しい豊かさ」へのチャレンジ

II「新しい安心安全」へのチャレンジ

III「新しい人財育成」へのチャレンジ

IV「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- 感染症対策と社会経済活動の両立に注力。
- 未来への投資につながる施策へ積極果敢に挑戦。

自ら未来を切り拓ける茨城へと「飛躍」

一般会計予算額 1兆2,951億7,800万円

(対前年度比 + 1,322億6,100万円 + 11.4%)

※ うち新型コロナウイルス感染症関連分は1,621億円

※ 震災関連や新型コロナウイルス感染症関連分を除いた伸び率 + 0.5%

<当初予算額の推移>



<一般財源基金の残高>

R3年度末見込み

573億円

※ 感染拡大によるR2予算執行の減や地方財政措置等を踏まえ、R2補正予算で基金の積み立てを予定。

「4つのチャレンジ」の主な施策 ①

「新しい豊かさ」へのチャレンジ

- ・ 企業立地が有望な「つくばみらい福岡地区」において約20年ぶりに新たな工業団地を造成するとともに、新たな産業用地の開発のための可能性調査等を実施。
- ・ 生産量日本一である「栗」の高付加価値な加工品のブランド化を推進。

<これまでの取組み・成果>

- ▶ 全国トップレベルの本社機能等誘致補助制度を創設し、19件を補助対象に認定
- ▶ 輸出に意欲的な産地と事業者が実施する海外でのプロモーションを支援

全国トップクラスの
企業誘致実績!!

農産物の輸出額が
3年で5倍に!!

「新しい安心安全」へのチャレンジ

- ・ 新たな産業廃棄物最終処分場（日立市諏訪町地内）の基本計画策定や周辺道路の設計等を実施。
- ・ 県立医療大学及び付属病院の公立大学法人化に向けた準備に着手。

<これまでの取組み・成果>

- ▶ 最優先の医療機関・診療科を選定して医師13.1名（常勤換算）を確保
- ▶ 橋梁の耐震化や河道改修等の防災・減災対策を推進

このほか不足が懸念される
小児科医3名を確保!!

「4つのチャレンジ」の主な施策 ②

「新しい人財育成」へのチャレンジ

- ・ 不妊治療に対する助成を拡充するとともに、不育症検査に対する助成を新設。
- ・ 県立高校等における一人一台端末について、低所得世帯に対する補助を新設。

<これまでの取組み・成果>

- ▶ 県立中学校における一人一台端末の整備等を前倒して推進
- ▶ 第3子以降で3歳未満の子どもの保育料について、所得制限を撤廃し完全無償化

ICT教育・遠隔教育
環境をいち早く導入!!

「新しい夢・希望」へのチャレンジ

- ・ 首都圏向けテレビを活用した県産品の販売プロモーションを開始。
- ・ 宿泊施設に加え、常設型観光施設の誘致促進制度を創設。
- ・ 大幅な増員等により、県北地域の起業型地域おこし協力隊の活動を強化。

<これまでの取組み・成果>

- ▶ 全長約320kmの「県北ロングトレイル」の整備等を推進
- ▶ 夜の水族館の魅力向上のためクラゲ大水槽等の整備により水族館をリニューアルオープン

魅力度ランキングが
最下位脱出!!

（1）感染拡大防止策と医療提供体制の整備等（405億円）

- ・ 入院患者受入医療機関における病床確保に対する補助等
- ・ 救急医療機関等における設備整備に対する補助等
- ・ 東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン等における感染症対策

（2）県民生活等への支援（30億円）

- ・ 小学校の臨時休業に伴う放課後児童クラブの実施に対する補助等
- ・ 学級担任業務を補助する学校サポーターの配置
- ・ 妊婦に対するPCR検査費用の補助や感染した妊産婦に対する訪問支援等

（3）県内産業等への支援（1,169億円）

- ・ 事業継続等を支援するための新型コロナウイルス感染症対策としての融資の継続

（4）予備費（17億円）

合計 1,621億円